

コースコード：RH-RH134

税抜価格：280,000円

日数：5日間

受講対象者

このコースは、現在のスキルの補強または他のチームメンバーの支援に関心がある Windows システム管理者、ネットワーク管理者、その他のシステム管理者、および同様の業務を担当する Linux システム管理者向けです。

確立された標準と手順を使用した、Linux システムの設定、インストール、アップグレード、保守運用面でのサポートの実施
システム管理によるシステムパフォーマンスと可用性の監視
タスク自動化とシステム管理のためのスクリプトの作成とデプロイ

コース概要

スケーラブルな方法で Red Hat Enterprise Linux をインストールする
セキュリティファイル、ファイルシステム、ネットワークにアクセスする
シェルスクリプティングと自動化テクニックを実行する
ストレージデバイス、論理ボリューム、ファイルシステムを管理する
セキュリティとシステムアクセスを管理する
ブートプロセスとシステムサービスを制御する

目的

専任の Linux 管理者となるために必要な主要タスクに重点を置いた学習

Red Hat システム管理 II (RH134) は、Red Hat システム管理 I (RH124) で習得した基礎知識を前提としており、それらの知識にコンテキストを加えます。この後続コースは、Red Hat Enterprise Linux® のさらに詳しいユースケースを実証し、RHCSA 認定試験 (EX200) の準備に役立ちます。

このコースは Red Hat Enterprise Linux 8 に基づいています。

アウトライン

コマンドラインの生産性の向上



bash シェル、シェルスクリプト、および Red Hat Enterprise Linux が提供する各種のユーティリティの高度な機能を使用して、コマンド実行の効率性を向上させます。

将来のタスクのスケジュール

将来 1 回のみ、または繰り返して実行するコマンドをスケジュールします。

システムパフォーマンスのチューニング

チューニング・パラメーターを設定し、プロセスのスケジュールの優先度を調整して、システムパフォーマンスを向上させます。

ACL によるファイルへのアクセスの制御

ファイルへのアクセス制御リスト (ACL) を解釈して設定し、複雑なユーザーおよびグループアクセス権限を必要とする状況に対処します。

SELinux セキュリティの管理

SELinux を使用してサーバーのセキュリティを保護して管理します。

基本ストレージの保守

コマンドラインからストレージデバイス、パーティション、ファイルシステムを作成して管理し、スペースをスワップします。

論理ボリュームの管理

コマンドラインからファイルシステムを含む論理ボリュームを作成して管理し、スペースをスワップします。

高度なストレージ機能の実装

Stratis ローカルストレージ管理システムを使用してストレージを管理し、使用中のストレージ空間を VDO ボリュームを使用して最適化します

ネットワークアタッチト・ストレージへのアクセス

NFS プロトコルを使用してネットワークアタッチト・ストレージを管理します。

ブートプロセスの制御

ブートプロセスを管理して、提供されたサービスを制御し、問題をトラブルシューティングして修復します。

ネットワークセキュリティの管理

システムファイアウォールと SELinux

ルールを使用して、サービスへのネットワーク接続を制御します。

Red Hat Enterprise Linux のインストール

Red Hat Enterprise Linux

をサーバーおよび仮想マシンにインストールします。